

正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申し上げます（2024年12月13日）

■第1版 第1刷（2024年11月1日発行）の修正・更新箇所

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
特集：人工呼吸器の設定ドリル					
2166	図5		(図全体の差し替え)	※1参照	24/12/13
2186	1)2行目	また、ARDS や敗血症などの継続した深鎮静が必要な状態ではないため、浅い鎮静管理で自発呼吸を温存した管理が望まれます。	浅い鎮静管理で自発呼吸を温存した管理が望まれます。		24/12/13

図表

※1

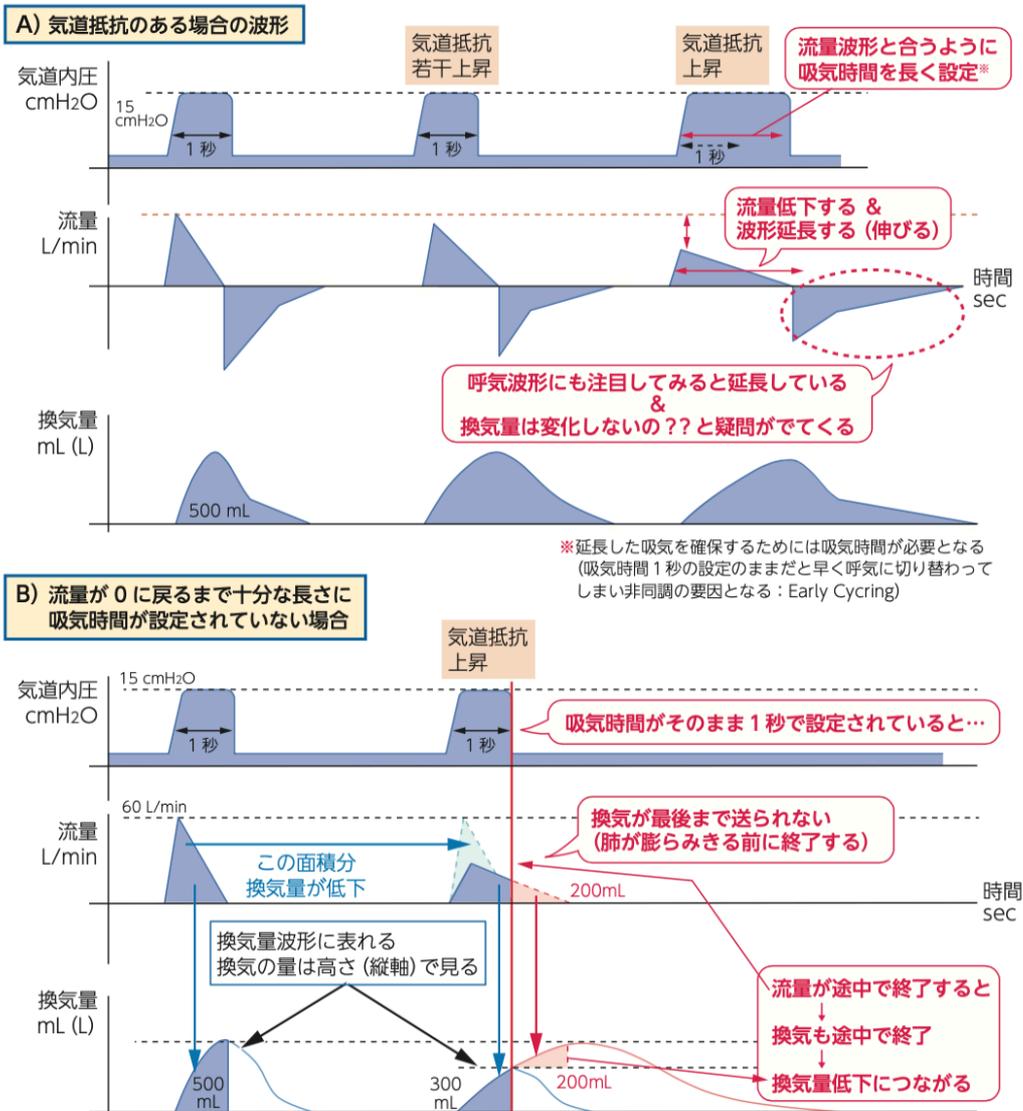


図5 PCVにおける変化

- A) PCVにおいて気道抵抗が上昇した場合のグラフィック波形。
 B) PCVにおいて気道抵抗が上昇し換気量低下につながる波形。A)と同様に流量が0に戻るまで十分な長さに吸気時間が設定されていれば換気量は同じになるが、適切な吸気時間の設定がされていないと途中で換気が終了する。